

—お風呂場での結晶化ガラス建材のご提案—

一般的に御影石が多く使用されるが

天然石は石の生成過程で生じる目に見えない微小な穴「細孔」があります。

その為湿気がたまりやすく、お風呂場のような環境下ではカビが発生しやすくなってしまいます。

その他にもどうしてもお風呂場では、雑菌などが発生しやすい環境になっております。

お風呂場の4大汚れ

- ①水垢はアルカリ性
- ②白い塊になる汚れ
原因は炭酸カルシウム

だから酸性洗剤で中和させ落とす。

- ③カビ
- ④バクテリア、雑菌などが原因のぬめり

除去、予防には塩素系アルカリ性洗剤が効果的。

酸とアルカリ洗剤、その天然石大丈夫！？

現象

大理石は非常に酸に弱い。
御影石は大理石よりも耐性はあるが光沢は落ちてしまう。

対策

場合によってはガラスコーティングが非常に効果的。

理由

酸、アルカリの耐性はだまかに分ると大理石<御影石<ガラス

問題点

ガラスコーティングはあくまで塗布剤。
定期的な塗り直しが必要になる。

ならば



最初からガラス素材の建材を使えばよい。

なぜお風呂場には結晶化ガラスが有効なのか？

強度を検証

1

- ・厚み18mmの結晶化ガラスですが、外装材として使用される事がメインで非常に強固。
10階建てのビルの外装材として使用された例もあります。
- ・傷の付きにくさを測るモース硬度も天然石よりも上位。

<一般的なモース硬度>
人の爪2.5 大理石3 御影石5.5 パリトーン6.0~6.5
ダイヤモンド10 (新基準では15)

適正確認

2

- ガラス素材の為、吸水率0.0%。
→ 浸み込み汚れ防止。同時に菌の繁殖対策にも非常に効果的。
- 酸・アルカリ性にも強い。
→ 永く、長期間美観を保ちます。
- 大理石模様を目標として作られた建材。
→ 高級感、優雅さ、上品さを兼ね備える。

結論

3

結晶化ガラスパリトーンは、湿度の高く、酸・アルカリ洗剤に晒される過酷な環境下でも、その特性を如何なく発揮できる機能美と造形美を兼ね備えた素材である。